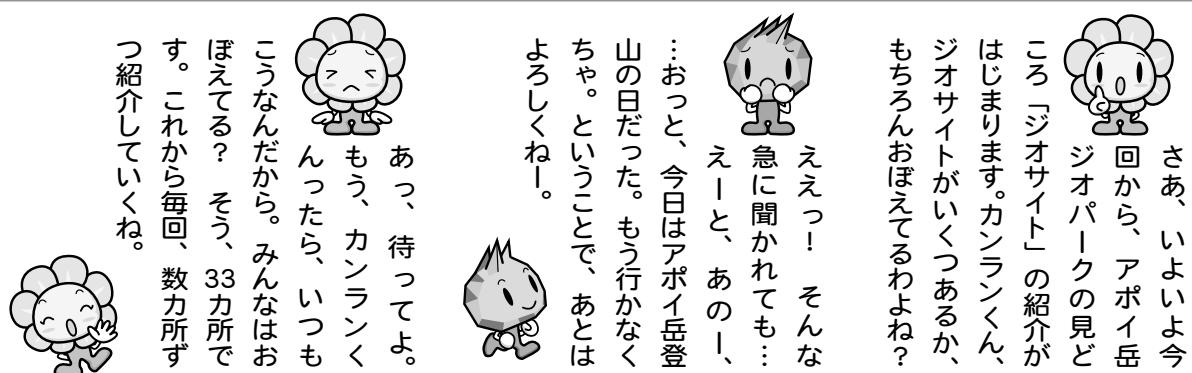


とってもやさしい アポイ岳ジオパーク講座 【第4回】

ジオサイトめぐり (見どころ) その1



■アポイ岳エリア：【B2】高山植物再生実験地・【B6】アポイ岳



ジオサイト【B6】
高山植物再生実験地での作業風景
(2007年4月)

【B6】アポイ岳は、このジオパークを代表するジオサイトのひとつ。なんといってもここでしか見られないものを含む豊富な高山植物が一番の見どころ。でも、その高山植物たちは今、ものすごいスピードでその数を減らしていて、まだその原因ははっきりしていません。

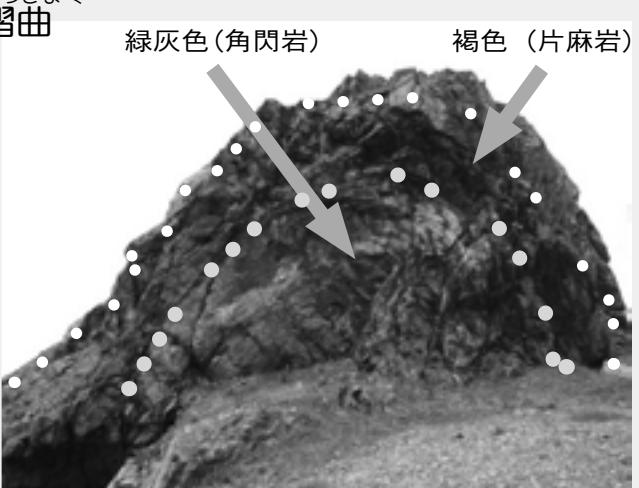
【B2】高山植物再生実験地は、アポイ岳ファンクラブや土地所有者、研究者たちが手を組んで、高山植物を回復するためにはどんな方法が良いのかなどを実験しているところです。

これらのジオサイトでは、アポイ岳の高山植物の素晴らしさと、そこに迫る危機、そしてアポイ岳を守ろうとする人たちの情熱を感じることができます。

■日高耶馬渓エリア：【D5】角閃岩の褶曲

この岩場では、まるでロールケーキのように、褐色の岩石（片麻岩）が緑灰色の岩石（角閃岩）を包み込んでいる様子が見てとれます。この2種類の岩石はもともと、それぞれがまったく別の場所にあった、まったく別の種類の岩石でしたが、地球の活動によってここに運ばれるとともに、強い圧力と高熱を受け、くっついたり別の種類の岩石に変化したり曲げられたりした結果、今見られるようなすがたかたちになりました。

このジオサイトは、岩石を曲げてしまうほどの地球のパワーを実感できる場所です。



ジオサイト【D5】角閃岩の褶曲の岩石色の違う岩石が、ロールケーキのように重なっています